

2023年7月6日

プラスオートメーション株式会社

報道各位

## 富士ロジテックの食品倉庫現場に搬送 AMR を RaaS 導入

～人・ロボット・フォークリフトでのハイブリッドな庫内作業を実現～

物流ロボティクスサービス「RaaS」を展開するプラスオートメーション株式会社（本社所在地：東京都江東区、代表取締役：山田 章吾、以下「+A」）は、株式会社富士ロジテックホールディングス（本社所在地：静岡県静岡市、代表取締役：鈴木 庸介、以下「富士ロジテック」）の ALFALINK 相模原物流センターに搬送 AMR「JUC-S800R」を活用した RaaS の本格運用を開始しました。

動画・インタビュー：<https://plus-automation.com/works/casestudy/fujilogitech-holdings/>



加工食品（重量物・ドライ）の入荷・出荷オペレーションに JUC-S800R を活用

低床倉庫の同センターは横方向 200m×縦方向 70m の広範囲での荷役が必要であり、人とフォークリフトが往復搬送に時間を費やしていました。これを解決するために、+A と富士ロジテックは、ロボットによって人とフォークリフトの横持ち作業を代替する実証実験を開始しました。既存の在庫ロケーションを変更することなく、現場のオペレーションに寄り添いながら改善を繰り返し、人・ロボット・フォークリフトが共存するハイブリッドな庫内オペレーションを実現しました。この結果、人とフォークリフトの横搬送距離を大幅削減でき、ピッキングやトラックの積み込み、庫内商品の最適な配置変更など、より生産性の高い業務に集中できるようになりました。

+A は、引き続き物流現場で働く方と同じ目線で、関わるすべての皆さまとともに倉庫内オペレーションの高度化を支えていきます。

### 【搬送 AMR “JUC-S800R” の特徴】

JUC-S800R は、その正式名称（Jack-up Carrier SEER 800 Rotate/ジャック・エス・800・アール）の通り、ジャッキアップ型の汎用自律搬送ロボットで、回転ローター機構搭載により、搬送物を回転させずに自動積み下ろしが可能。

- ✓ ガイド不要（SLAM 式）で現状のレイアウトを変えずに導入可能
- ✓ 800kg の重量物を安定搬送可能
- ✓ 従来の AMR（自律搬送ロボット）に比べ高速マッピングを実現
- ✓ LiDAR、各種センサー搭載による障害物検知による自動停止可能
- ✓ 群制御による大物仕分け可能
- ✓ +A の自社開発 WES「+Hub」と接続することで多彩なアプリ連携と機能拡張が可能

▼「JUC-S800R」についての詳細はこちら

<https://plus-automation.com/robot/seer/index.html>

【JUC-S800R】 最大積載重量：800kg



以上

<プラスオートメーション株式会社について <https://plus-automation.com>>

+Automation は、テクノロジーと物流を融合させ、物流現場にさまざまな“+A”を届けるために生まれた会社です。“+A”には、業務の効率化だけでなく、その先にあるやり甲斐や、よろこびなどの“+α”も込めています。

+A は「倉庫の自動化をもっと身近に、簡単に。」をサービスコンセプトに、サブスクリプション型の物流 RaaS（Robotics as a Service）を提供するリーディングカンパニーです。あらゆるテクノロジーを活用し、これまでにないサービスを物流に携わるすべての人と共に創っていきます。

本件に関する問い合わせ先：プラスオートメーション

担当：井島

Email：info@plus-automation.com